

！ 台風・豪雨時の避難行動判定フロー

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？



平時に確認

ハザードマップ※1で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

※1 ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

家がある場所に色が塗られていますか？

はい

災害の危険があるので、原則として※2自宅の外に避難が必要です。

例外

※2 浸水の危険があっても、

- 1 洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側である
- 2 浸水する深さよりも高いところにいる
- 3 浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある

上記の場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル3高齢者等避難が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

いいえ

警戒レベル3高齢者等避難が出たら、市が指定している指定避難所に避難しましょう

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル4避難指示が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

いいえ

警戒レベル4避難指示が出たら、市が指定している指定避難所に避難しましょう

！ 地震発生時の対応



● 落ち着いて、自分の身を守る

地震発生

緊急地震速報

強い揺れ(震度5弱以上)が始まる数秒から数十秒前に、テレビやラジオ、市の防災行政無線や携帯電話などで「もうすぐ揺れること」を知らせてくれます。ただし、震源に近い地域では、強い揺れに間に合わないことがあります。

家の中の安全確保

出口を確保
余震などに備え、避難できるよう出口を確保する。



あわてて外に飛び出さない
瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくるので注意する。



靴をはいて動く
飛び散った窓ガラスや食器の破片などでケガをするかもしれないので、部屋の中でも底の厚い靴をはいておきましょう。

火を消す
できるだけ早くガスコンロやストーブなどの火を消しましょう。ただし、揺れが大きい時はおさまるまで自分の身を守りましょう。

棚などのそばから離れる
冷蔵庫や本棚、食器棚などが倒れて中のものが落ちてくるので、座布団などで頭を守りながら、テーブルや机の下にかくれて揺れがおさまるのを待ちましょう。

家の外での安全確保

商店街・ビル街
ビルの倒壊やガラスの破片に注意し、安全な場所に避難。



ビルの中
棚の転倒や落下物に注意。荷物の少ない廊下は比較的安全。



地下街
パニックに巻き込まれないよう、誘導灯に従って出口を確認。



エレベーター
すべての階の停止ボタンを押し、最初に止まった階で降りる。



車の中
緊急車両の妨げにならないよう道路の左側に停車。車のキーをつけたまま、ドアをロックせず窓を閉める。



住宅街
塀や自動販売機から離れ、広い場所に避難。



がけ付近
がけからすばやく離れ、安全な場所へ避難。

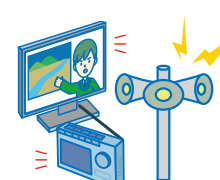


電車の中
座席などにつかまり姿勢を低くし、乗務員の指示に従い、勝手に外に出ない。



地震後の行動

正しい情報、確かな行動
ラジオやテレビ、行政などから正しい情報を得る。



確かめ合おう 我が家の安全、隣の安否
我が家の安全を確認後、近隣の安否を確認する。



協力し合って 救出・救護
倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになった人を近隣で協力し、救出・救護する。



避難の前に 安全確認 電気・ガス
避難が必要な時には、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締めて避難する。

